



ROTARY
INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY R.I. DISTRICT 260 LETTER

COPY

GOVERNOR: **YASUKI MORI**

PC 440 42-1, ISHIZUKA, HANADACHO, TOYOHASHI, AICHI, JAPAN ☎ 0532-53-1000

1978年6月30日発行

No. 14

The message from President of R.I.

Serve to Unite Mankind

全人類を結びつけるために奉仕せよ

1977～78年度第260地区ガバナー・プログラム

今こそ友情を！

第260地区各ロータリークラブ

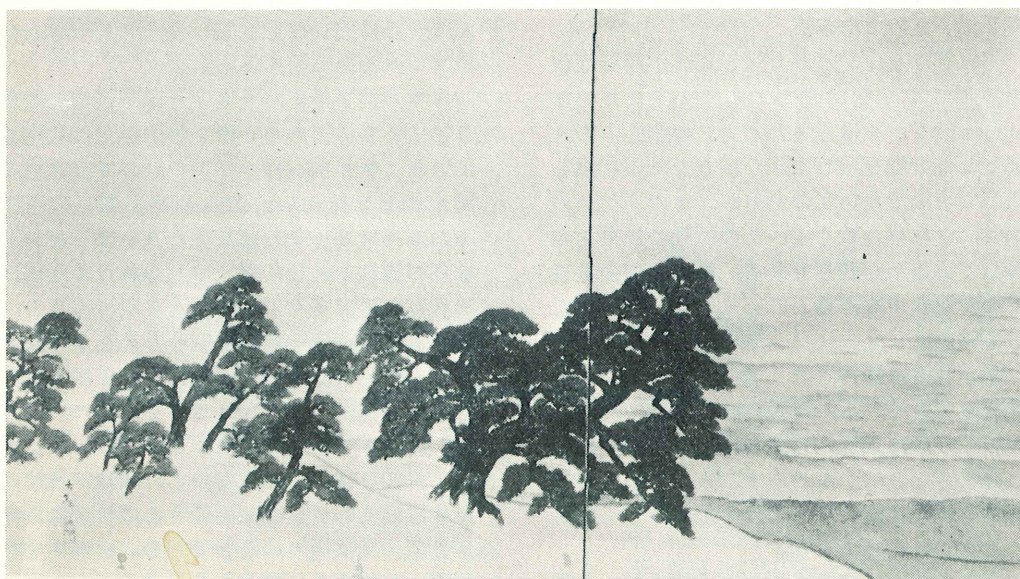
会長並びに幹事 殿

ガバナー： 森 泰 樹

ロータリーは

「余韻」であり「余白」である

Rotary gives pregnancy to life as blank spaces do to a painting and endures as the afterglow of reverberating temple bells



三保乃松原(部分) 横山大観

月信を書きつづけて来て丸一年、これで私の月信の最終回であると思えば、そぞろに淡い感傷が湧いてくる。

以前からこの地区の歴代のガバナーは月信の巻頭に必ずロータリーに関する自分の所見を述べる習しであった。これはどこの地区でも行われているのではなくして、云わばこの地区の「良き慣行」とも言えるのである。

私の所には毎月々々会長の J. Davis から細かなニュースと共に自分の信念を吐露した主張が必ず届いて来た。長年に涉って世界中を駆けめぐるってきた溢れるばかりの体験を通じてのロータリー観をぶっつけて来たのである。地区を担当するガバナーも、それをもとに自分の人生観を通じてのロータリー観を地区の人々にアピールしてゆくことは、何を措いても必要なことであると考えて私は私なりのロータリーへの取り組み方、考え方を披瀝（ひれき）して来た積りである。

そんな考えで私は地区内77（当時74）のクラブを訪問して私のロータリー観をデカに会員にぶっつけ、又会員からも大いに手ごたえのある反響を頂戴した。

大変嬉しかったことは夫々のクラブが夫々に少しづつニュアンスの異った強い個性の下にロータリーを運営してみえることを発見したことであった。「和して、同じからず」と云う。磐石のようにロータリーの基調は少しも揺ぎないのであるが、その取り組み方、やり方は全く同じでなく各々の個性を充分に発揮していたのである。

下世話にも「ソクラテスと馬鹿が同じ症状を呈しても 名医は決して同じ 処方を用いない」と云う。私は異ったクラブの個性に夫々違った処方箋を残して来た積りである。然し果して名医でない私の処方が、そのクラブの体質にどれ程合致して、その所期の効果を発揮しているか心残りである。私は又機会を得てその変り方を拝見しにいくことを楽しみにしている。

私の月信は抹香（まっこう）臭いという御批判を頂いている。抹香臭かろうと、臭からまいと宗教は人間の思索の根源であり、好むと好まざるとにかかわらず、人々の全ての発想がそれを基調として生れてくることも亦かくれもない事実である。

仏教に長い時間を現すのに「劫」という言葉がある。未来永劫などと云うあの劫である。

印度に40里四方の大きな岩があって、天人が天から百年に一度下りて来て、その着ている羽衣の裾（すそ）で、この岩の表面を撫でるのである。いくら軽い羽衣で岩を撫でても何時かはその岩は擦り切れてなくなる筈である。この百年に一度羽衣で撫でて岩が擦りへってなくなる間の時間を一劫年と云うのである。全く気の遠くなるような話である。

会議が難しい局面に逢着して、議論沸騰して留るところがなく、部屋は煙草の煙と人いきれでむせ返るような修羅場になるとき、私はわざとこの「劫」という言葉を思い出しては独りで頭を遊ばすことにしている。

すると喧々がくがくと眼を血走らせている人間の営みが如何に小さいものであり、仏様の目から見ればとるに足らぬ蝸牛角上の憐れな争いに過ぎないということに気付くのである。

世の中は毎日々々目まぐるしく回転して留るところを知らない。それに対処してゆくには寸毫の油断も許されない。この気の上ずって来るような匆忙の生活の中でフト「劫」という言葉を思い浮べてみると同じ寸法で、そんな時一寸ロータリーを思い出してみたら如何であらうかと思うのである。仕事が抜き差しならぬ破目に陥ってしまっている、その時ふとロータリーの親しい友達の顔、そしてあの和かな雰囲気を感じ起してみるがよい、きっと齷齪（あくせく）とした小さな考えが即座にフッ飛んで心の中に一抹の涼風が吹きこんでくるに違いない。誠にロータリーは心のオアシスである筈である。

私は月信2号にロータリーは「遊び」であり「ゆとり」であると書いて大かたの共感を頂いた。数年前私はウインの野外で音楽会を聞く機会を持った。閉会の幕が静かに下りる。人々は仲々その席を立とうとはしない。数刻が流れる。音に憑（つ）かれたように三三五五と手を組んではゆっくりゆっくりと、尚耳に残る音楽の余韻を噛みしめながら出てくる。翳々（じょうじょう）として残るこの音楽の「余韻」、これがまさしく人生に於けるロータリーではなからうかと思うのである。

「真如とは如何なるものと人間わば墨絵に書きし松風の音」真如と云うのは仏教に於ける真理、又は悟りのことである。松の樹を数本描いた墨絵の一幅があるとする。その松の樹の上は余白に残されて、何も描いてない。

その何も描いてない「余白」に、これを見る人の心によっては頬をなでるそよ風を感じるでもあろうし、又静かに響く松籟の音を聴くことが出来ようというのである。誠にロータリーは人生の「遊び」であり「ゆとり」であり、更に芸術的な生活の「余韻」でさへあるのである。そして又更にすすんでこの宗教的な「余白」にまでその精神を昂揚させることは出来ないものであろうか。

禪一如と云い、又茶禅三昧とも云う。西洋で生れたロータリーの考え方も漸く東洋的に高められて日本人の血液の中に浸みこんで来た。口禅一如という崇高な日本的ロータリーがそろそろ日本に生れてもいい頃ではないかと泌々と思うこの頃である。そんな気持ちで私はこれからロータリーに進進することを誓って筆を擱（お）く。

どうも長い間御愛読有難うございました。

1978～79年度国際ロータリー役員

会 長 クレム・レスーフ(オーストラリア)

副会長 エドワード F. キャドマン(米)

理 事 ヨルゲ・フーゴ・アレッテ・デ・シルバス(アルゼンチン)

同 ジェームス L. ボーマー Jr.(米)

同 ハーバート G. ブラウン(米)

同 クロード・シャバ(仏)

同 パウロ・ヴィリアット・コレア・ダ・コスタ(ブラジル)

同 エドマンド C. コトン(英)

同 エドマンド L. デタリング(米)

同 ルーサー フォード(米)

同 ドナルド クェイト(米)

同 向笠 広次(日本)

同 ソリ パブリ(印度)

同 アーテマス P. リチャードソン(米)

同 オフロ・ソーダーストロム(芬蘭)

同 ピーター ウェッセル(ノルウェー)

同 J. S. ボップ・ヤントン(ニュージー L.)

事務総長 ハリー A. スチワート(米)

任期を終えて

地区幹事 高 沢 隆

6月28日夜遅く森ガバナーより上田東と名古屋名東2クラブが年度内に加盟認証をうけられるかどうかについてR. I. に国際電話をされた結果をお聞きし、見通し明るいとのことで、拡大を主目標にしたこの一年がやっと終わったという気が致しました。

森ガバナーの実現は神野ガバナーにつづく豊橋クラブの願望でありまして、豊橋クラブの名誉にかけた一年でありました。小生ごときものがこの大役を努めうるかどうか自信がありませんでしたが、何とか森ガバナーのかかげた目標達成にご協力出来たのは、豊橋クラブ全員の応援と河合会計長、石川和昌、小田公平両副幹事と良きチームワークが組まれたおかげであると思います。

森ガバナーはこの一年間全く終始一貫しておられたと思います。マイイヤーにベストを尽し、悔いのない様にするに云うお考えをそのまま実行されました。ロータリーの精神と森ガバナーの人生観が一体となった“ロータリーは遊びである”と云う思想は伝道者ガバナーとして多くの会員から共感を寄せられました。

事務的な仕事については全く小生に一任されておりましたので、この一年間にはかなり不都合を地区内の皆様におかけしたことがあると思いますが、すべての小生の責任でお詫びを申し上げます。

7名の分区代理の皆様方はじめ、地区委員長、特別代表、各クラブの会長、幹事の皆様にご協力を衷心よりお礼申し上げます。又先輩地区幹事として格別のご指導をいただいた吉田市郎君、水野民也君、後藤新三君、楠仙三君、三井章義君に感謝申し上げたいと存じます。

ロータリーは善意と友情の世界です。この一年善意と友情に恵まれたことは生涯忘れ得ない貴重な体験でありました。

R. I. 会長指名委員に湯浅君

1980～81年度R. I. 会長指名委員にアジアゾーンから東京クラブの湯浅恭三君が決定。

本年度クラブ拡大の成果実る！

佐久, 上田東, 名古屋名東3 R.C. 相ついで R.I. 加盟承認

去る5月29日創立総会を行った長野県佐久 R.C. (東北信分区) は6月7日付をもって国際ロータリーから加盟を承認され、地区内第75番目のクラブとなった。

又、6月14日創立総会を行った長野県上田東 R.C. (東北信分区) と6月20日創立総会を行った愛知県名古屋名東 R.C. (尾張第1分区) も夫々地区内76、77番目のクラブとして6月30日付をもって加盟承認された。

3クラブの前途を祝福致します。

上田東 R.C. 創立総会開く

6月14日快晴に恵まれた上田市の上田温泉ホールに於て260地区第76番目のクラブとして上田東 R.C. の創立総会が開かれた。

上田東 R.C. は上田 R.C. のアディショナルクラブで、上田 R.C. と特別代表矢島謹一君のご努力により短期間に結成されたが、上田 R.C. は既に4つのクラブ結成の実績があり、今回の上田東 R.C. は良きスポンサーのもとで立派なクラブとして発展するものと思われる。



上田東 R.C. 創立総会々場

名 称 上田東ロータリークラブ
区域限界 上田市東部地域と小県郡東部町及び真田町
事務所 上田市大手1-10-22 上田商工会議所内 tel. 0265-22-4500
例会日 毎週水曜日 12.30-13.30
例会場 上田東急イン (上田駅前)
会員数 30名
役 員 会長 西川伊次郎 副会長 堀謙三
幹事 水野春海

名古屋名東 R.C. も創立総会

6月20日名古屋国際ホテルに於て名古屋市第11番目、地区内第77番目のクラブとして名古屋名東ロータリークラブが誕生した。



名古屋名東 R.C. 創立総会々場

同クラブは年度内に生れた最後のクラブで森ガバナーがガバナー就任以来、名古屋市内のクラブ拡大に燃やされた熱意がやっと実現したもの。

クラブ誕生に至る迄には山田地区拡大委員長、岩田尾張第1分区代理はじめ名古屋市内の皆さんに大変ご協力をいただき、相羽特別代表と名古屋和合ロータリークラブの決断によって結成をみることが出来た。

又、大名古屋市で最も発展している名東区を中心に出来た名古屋名東 R.C. は名古屋クラブから移籍された西野新会長を中心に今後立派なクラブとして成長するものと思われる

なお、同クラブのチャーターナイトは10月29日に開催される。

名 称 名古屋名東ロータリークラブ
区域限界 名古屋市名東区及び愛知県長久手町
事務所 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル 1033 tel. 052-251-1111 (内線470)
例会日 毎週火曜日 12.30-13.30
例会場 名古屋国際ホテル
会員数 30名
役 員 会長 西野新兵衛 副会長 岡本纓二 幹事 梨木豊一

1979～80年度 R.I.第260地区ガバナー・ノミニー候補に川瀬保君

地区ガバナー指名委員会指名

ガバナー月信第9号にて1979～80年度の第260地区ガバナー・ノミニー候補の推薦方を各クラブ宛にお願いしました所、期限迄にどのクラブからも御推薦がありませんでした。

よってR. I. 細則第13条5節(f)項の規定により地区ガバナー指名委員会は名古屋ロータリークラブの川瀬保君を1979～80年度のR. I. 第260地区ガバナー・ノミニー候補と決定致しました。

川瀬ガバナー・ノミニー候補ご紹介

◎ロータリー歴

- 1961.9.15 名古屋南R.C. 入会
- 1965～'66 同プログラム委員長
- 1966～'67 同理事、職業奉仕委員長
- 1969～'70 同理事、国際奉仕委員長
- 1970～'71 同雑誌委員長
- 1972～'73 同会長
- 1973～'74 同理事
- 1974～'75 第360地区尾張第1分区代理
- 1976～'79 第260地区職業奉仕委員長

◎本籍 三重県員弁郡東員弁町大字長深3762

◎現住所 名古屋市昭和区荒田町1-31

◎学歴 四日市高校(元三重県立富田中学校)から第1高等学校をへて、昭和6年3月東京大学法学部卒業

◎年令 明治38年2月15日生れ 73才

◎趣味 ゴルフ、碁、謡曲



◎職歴

昭和6年4月 日本勧業銀行入行。同16年大蔵省の要請で勧銀在籍のまま大蔵省理財局資金調整課勤務、戦時金融の一端を担う。昭和19年 大同製鋼入社、取締役、常務。専務として経理、購買、販売、企画、労働、工場関係等各方面を担当。

昭和44年 大同興業(大同製鋼の販売会社)に出向。副社長、社長、会長をへて現在同相談役の外、学校法人大同学園理事長、愛知医科大学常務理事、中部鉄塔工業(株)取締役。中部経済同友会特別幹事、中経連理事、中部生産性本部理事、愛知県経営者協会幹事、愛知県私学振興事業財団理事等の公職有。

地区内年次報告書を作成

ガバナー事務所では森ガバナーの年度終了に当り、当該年度の地区行事、地区資金決算書、R.財団ポールハリスフェロー、米山功労者の分區別人員、出席統計、その他地区委員会の活動記録等を収録した1977～78年度R. I. 第260地区年次報告書を作り、近く地区役員及び各クラブ宛1部ずつお送り致します。

ガバナー事務所閉鎖のお知らせ

森ガバナー事務所は6月30日をもってその任務を終了しました。

ガバナー・ノミニー事務所以来1年有余にわたり皆様から頂きましたご協力とご支援を厚く御礼申し上げます。なお残務整理をいたし7月20日をもって当事務所を閉鎖致します。

地区幹事 高沢 隆・事務所一同

一年の回顧

尾張第1分区代理

岩田嘉七

分区代理の任務について無知であったこと
又、その為引受けることにも相成った次第ではあるが、ガバナーのお手伝いをするに意義を感じて任期（7月1日）の始まる前から受持ち、14クラブ訪問を始めました。何処へ伺っても丁寧に迎えて下さったのには恐縮すると共に、氣力に張りが出て来ました。出来る限りガバナーのクラブ訪問には随行してガバナーにくつろいでもらえる様につとめたつもりではあるが、却ってご迷惑であったとも気付いて反省しています。ともあれこれが私自身にとって大きな勉強の場にもなるのでご迷惑を省りみずお供をしました。そのうちにガバナーの方針の中で、新クラブ創設が特に強く望まれておる事を知りましたので、かねてから小生の持論として過大会員のクラブになることを避け、早目に分立することが望ましいと信じているので、何とか市内で新クラブをと、あちらこちらのクラブに小当りに見ると、何れも苦い表情で態よくお断りと相成るばかり。どのクラブでも変わったこと、新しい事は事勿れ主義でやる気がないのは皆同じである。その内市内16区のうちで人口増加率が一番で、将来共発展性豊かな和合クラブに焦点を合わせました。山田P.G., 森ガバナー、高沢地区幹事とも連絡をとり乍ら何度も和合の例会に出席して説きすめました。そのうちに11月になると翌年2月には尾張第1分区のI.G.F.を引受けておられる和合クラブでは地区分割などは一時お預けの形となり、忘年会新年会などで忘れられ、2月のI.G.F.も無事済んだ処で漸く巻き返しに出た処が、今度は「なぜうちのクラブだけがI.G.F.やら新クラブやらと二つも大事業をしなければならぬのか」と冷たい批判が出て来た。高沢地区幹事と密かに連絡をとり乍ら出向いて説明会を開いたり、森ガバナー自ら出陣して強く要請したりして漸く軌道に乗りかけたが、今度はクラブ内の事情もいろいろあって月間4回の例会時に協議す

るだけだから1ヶ月位すぐたってしまう、とうとうあと2ヶ月にせまった処で必死に訪問説得をくり返して、タイムアップぎりぎりの6月20日にやっと名東クラブの創立総会を開ける処に漕ぎつけました。勿論最大の努力は和合クラブのメンバーの方々であるが、このことは将来和合クラブ、名東クラブの何れの方もきっと喜んで頂けるものと確信しています。

創立総会当日森ガバナーの笑顔に接した時は、自分も心から顔の表情がくずれたに違いない。

悔いなき一年

尾張第2分区代理

福田源一

6月4日12時20分森ガバナーから田辺エレクトにガバナーバッジが手渡された。名古屋学院大学本部3階役員室で満場の拍手を浴びてカメラに納った御両氏の握手は長く続いた。聞けばD.260歴代ガバナー自筆のコードと共に23代田辺ガバナーへのバトンタッチである。昨年6月ホテルニューナゴヤの会長幹事会の席上始めて森ガバナーと御会いして、緊張した気持ちで高沢地区幹事からアシストの方法を色々と示唆されたのをメモしたのが昨日のことの様に脳裡をかすめた。

ロータリー繁栄の秘密は職業分類をかたくなに守り役員が一年で交代して行くというロータリーのやり方であり、奉仕の理想を友情と親睦で達成しようとする精神主義的哲学的団体の奥深い限りなく続く求道の故でもあるとは、森ガバナーのロータリー観である。

悔いのない一年にせよ。エネルギーを燃やせ。日本人的許容範囲で一步先に出よ。簡単に、自由に、しかし印象的にクラブを運営せよ。14クラブのガバナースピーチを14回聞いても少しも倦怠感を覚え、むしろ一々新鮮味を感じさせたのはガバナーがスピーチの中で御自分の全人格を吐露された結果であろうか、楽しい思い出の一つである。

推奨する奨励するという言葉の多いロータリーの文書の中で……でなければならないと

書かれてある数少い例の中に「区域限界」がある。テリトリーがかたくなに守られないとロータリー永遠の繁栄の一角がくずれるというのが森ガバナーの一つの信念でもあった。

ガバナーの手足となりガバナーの考え方を正確に分区内ロータリアンに伝達するのが分区代理の職責であることを深く自覚し、高沢地区幹事に幾度となく連絡を取り御迷惑をお掛けしたことも私の使命観の現れと思ってお許し願いたいと思っている。又14クラブの会長 幹事さん、新会員 研修会、I.G.F.のホストを務めて戴いた稲沢、一宮両クラブの関係者、更にはホームクラブの会員諸氏にも深く感謝を申し上げたい。

誠実と奉仕を社是として自分のためよりも人のために優先させる東洋思想を持った兄の人生観に共鳴して、郷土をこよなく愛し、ふるさとの発展を願って30有余年を食品工業と共に歩いた根っからの商売人である私が、お医者さんで哲学者であり、人格識見共に敬服する森ガバナーに巡り逢えたのはロータリーならばこそであり、正にロータリーの醍醐味を味った一年でもあったと感謝の念で一杯である。

最後に、森ガバナー、高沢地区幹事万才、尾張第2分区、14R.C.万才と心の底から叫んで擲筆する。

一年の回顧

三河第1分区代理

板 倉 三 郎

事の起こりは、蒲郡クラブが、地区大会のホストを受けたことに、端を発したわけです。そのことを理由に、順番になっていたI.C.G.F.のホストを、一年延ばして頂きました。それでは交換条件ではないけれど、分区代理を出しなさいということになり、私が分区代理を仰せつかりました。地区大会のホストを蒲郡クラブで受けた時の会長を、私がしておりましたので、小言も云えないわけで因果は巡っているということでしょうか。

然しガバナー出身の分区ですので、最初から幸運で、すべての点で気楽な分区代理であったと思います。

最初公式訪問に行った、田原クラブはガバナーが特別代表で創立した所ですし、最終に行われた豊橋クラブは、ガバナーの所属しておられるクラブで、すべての事を充分に知っておられました。

公式訪問について批評がましいことを申しでは失礼ですが、豊橋クラブは自クラブですし、最後の訪問ですので、簡単にすむのではないかと思っていましたら、予定時間を遙かに越えた長いアッセンブリーになりました。最後迄、簡略にされることなく、充分な指導をされたことは、忘れることの出来ないことでした。

ガバナーは人間性の豊かな方で、専門外の分野にも造詣が深く、特に美術の鑑賞には、特別な知識をもっておられました。話題も豊富で常に楽しく公式訪問の御供をさせて頂きました。

私が個人的に遺憾に思うことは、ロータリーが他の奉仕団体に比較して、たいへんにすぐれているにもかかわらず、第三者に端的に説明をし相手に理解させることが割合にむづかしいことです。この一年を通じて色々勉強もして、自分なりには解っていても、充分に意をつくすことが出来ません。今後も御指導を賜り究明して行き度いと思います。

私にとっては個人的には、充分楽しい一年ではありましたが、分区内の皆様には、至らぬことばかりで、御迷惑をかけたこととお詫び申し上げます。

又、最後になりましたけれど、蒲郡クラブの陶山登是雄、鈴木孝昌両君に御手伝いをして頂いたことを明記して、御礼に代えさせて頂きます。

チョンボ代理の記

三河第2分区代理

神 谷 昭 司

ロータリーには“NO”が無いと長い間しつけられてきた私は、降ってわいたような分区代理の話にも、あとさきも考えずに“Yes”と返事をしてしまった。ロータリーで“NO”がないのは、相手の立場に立って考えるというロータリーの基本の考えから来ていて、頼

む方の人は、頼まれる人の立場に立って、よく考えてみて、やれそうだと考えて頼むのだから、頼まれる方としては、四の五の言わずに、引き受けるべしということだと思っているので、引き受けたのだが後でクラブの順番で来ただけのことを知って、いささか割り切れない気持ちではあった。ともあれ、7月に入り、ガバナーの御指示で事前訪問することになったのだが、その第一日目から、大失敗をやらかすことと相成った。安城クラブで、新任第一声をかっこよくなどと、柄にもなく、やや固くなって席に着いているところへ、岡崎南クラブから電話とのこと。何事かしら、この取込み中にと、いささか中腹で電話に出てみると、岡崎南クラブで私の訪問を待っていて、今になっても現れないのは一体何故かとのことなのだ。なんと、約束がダブルタである。平身低頭を画にかいたような仕儀となり、自ら“チョンボ代理”と名乗らざるを得ない出発第一歩であった。最初が最初だから、あとは破れかぶれ。一色が、夜間例会やると聞けば、飛んで行って、ごちそうになり、岡崎南が、お月見をやると聞けば、無理矢理に招待をねだり、遂には、キングズミーティングまでに押しかけて行く始末。又今年は、創立記念日のお祝いにあたることが多く、一面、ノンベ代理の年でもあった。お祝いと言え、一色の祝典に道を迷って遅刻をした。メインテーブルに座る人が、遅れて来るのなどということは、私もロータリーの会合には、かなり出たが、一度も見たことがない。それを自分でやるとは、チョンボ代理ならでのこと。I.G.F.もいきがって、皆さんに発言を、そして世代のギャップを直視しましょうなどと、他の分区代理さんのやり方と違うやり方でなどと、気負ってみたものの、結局はホスト豊田の皆様とリーダーの皆様のお力にぶら下がっただけ。何とも、慌しく恥しい一年であった。分区内の各会長さん、会員の皆様、一年間、本当に有難うございました。

おっと忘れて居りました。月報だけの各クラブの皆様、是非来年度は週報の発行をお忘れなく！

一年の回顧

東北信分区代理

中里三七雄

大変な仕事を引き受けてしまった、と思った昨年の今頃でありましたが、今にして振り返れば、それは自分の人生に大きなプラスを与えて呉れた一年間でありました。若い私が、先輩クラブや先輩に、どう接したら良いものやらとまどいました。ガバナーや分区代理の仕事は各クラブへのゆさぶりである、と言われたことを至上命令に先輩クラブにも遠慮しながらも、ゆさぶりを掛けてみました。勿論、森ガバナーの人間味あふれる公式訪問の結果もありましたが、ポールハリスフェローが何人か、しかも今迄一人も居なかったクラブから誕生したり、期末には大変無理なお願を小諸と上田に致しましたが、見事飯島特別代表が佐久R.C.を、矢島特別代表が上田東R.C.を発足させ森ガバナーの期待に答え東北信分区の為に気をはいて下さいました。又I.G.F.でのホスト長野東のご活躍等、心から関係の皆様方に感謝を申し上げる次第であります。ロータリーの人使いの荒さは定評がありますが、地区大会、I.G.F.、地区協議会、それぞれいやも応もなくリーダーとして引張り出されてしまいます。どうにかこうにか切り抜けて来たものの、今にして思えば汗顔の至りであります。然しその反面、森ガバナーに従っての公式訪問では終始そのお人柄にふれることが出来て、その豊富な知識や人間性をじかにはだで感じ取ることが出来たことは、分区代理としての大きな収穫でありました。地区内の七人の分区代理を森ガバナーは七人の侍と呼び、私共はこれにガバナーの泰樹の樹を取り「七樹会」と名付けてこの年度同期の「縁」を大事に終生の友情を約束いたしました。

分区代理の任務の終りに当り、この良きガバナーのもとに七人の友情のきづなが結ばれた幸運を感謝し、この年度にご推薦を下された分区内関係クラブ、この一年間各面に渡ってご協力をいただいたホームクラブの皆様、心からお礼を申し上げて退任のご挨拶といたします。

一年を顧みて

南信第1分区代理

福島 忠雄

昨年7月分区代理に就任以来一年間に亘り数々の心暖まる御指導を賜り、漸く任期を全うする事が出来まして、感無量のものがあります。当分区の次期分区代理は大町R.C.よりとの申し合わせがあったにせよ、指名を受けた時、若輩の私に、この大役が務まるだろうかと危懼の念を抱いたものでした。

この一年間を振り返ってみて、ガバナー公式訪問に際し、ガバナーにお伴をして各クラブにお邪魔して懇談し、又諸々の会合に出席する事に依り、広く知己を得、そして友情を深める事の出来ました事は、大きな収穫だったと思います。そして公式訪問に当っては、各クラブ共、細かな御配慮を頂き、夫々深い思い出を刻んで下さった事に対し、心から御礼申し上げます。

特に森ガバナーの幅広い学識の深さ、豊かな人間性溢れるお人柄に接し、言葉に云い表わせないお教えを受けた事は、私にとって、本当に幸せでした。

森ガバナーは図らずも、長年愛知県に住まわれて未知の事の多かった事、又長野県が南北に長く広がった事を改めて再認識されたと述懐されております。公式訪問時の厳しいスケジュールの中で、僅かな時間をさいて、その土地の自然、文化、芸術等に肌で触れる事に依り、夫々の土地の地域性、住民性を理解し、やがてこれら等の体験が、友情の輪を拡げロータリーの発展につながる事と確信します。

数々の奉仕活動が続ける事により、多彩にして、苦難(?)な一年が過ぎました。

微力な私が、大過なく分区代理の務めを果たしたのも、偏に森ガバナーの適切な御指導の賜であると共に、各クラブの会長さん始め会員の皆様の友情溢れる御支援の賜である事に心から御礼申し上げます。一年間の貴重な経験を少しでも、ロータリーの発展の為に生かし度いと思います。

一年の回顧

南信第2分区代理

丸山 昌寿

自信のない分区代理の大任も、1年で済むということでお受けした次第でした。自信のもてぬ任務程不安なものはないが、文字通りガバナー、地区幹事を始め先輩諸兄のお力添えと、分区内会員のご協力でどうやら年明けとなりそうです。

このような任務は、周囲の好意的協力がなければ成り立つものではないが、お仲間は流石にロータリアンだと、感じ入っている次第です。

自ら省みて冷汗の事のみ多く、汗顔という他はない。それにつけても、森G.の庶民的懇切さ、豊富な話題と秀れた話術や、深いご思慮、今更教えられることが多かったことは感謝のほかない。

森G.が、任務を苦にされるより、むしろ楽しんで取組まれておられたことが、ご健康始め、運用上凡てに好影響をもたらしたものと痛感されます。

この1年分区代理のポストが、分区内は元より地区内のより多くの方々と交友を広めたことは、最大の収穫であり、生涯の一駒として幸であったと考えております。

一番印象に残っていることは、2月初め、森G.の最終公式訪問が、ご所属の豊橋クラブで行われた際、地区内分区代理全員(1人欠)が同行して例会に出席した時の事である。クラブの充実した内容と、歓迎のご好意を肌で感じ、ほのぼのとした情感につつまれ感銘したことでした。私にはスポンサーC.ということが、一層の近親感を生んだものと思われまふ。

兎に角任務が始まると共に、このような事は楽しんで取組まなければやり切れないよ、という森G.のお考に従って、お役には立たなくとも、夫々の事象に意味を見出すことに努め、ノイローゼ的にならず終了したことに、感謝しています。

なほ一考を要すると思われた事は、各分区毎に行われるI.G.F.は、新入会員の研修が殆んど目的であるならば、出席者をそれに限定し、金もかけず、それなりの規模で実施の方がよいように思われました。

1978年5月31日現在（単位U.S.ドル）

クラブ名		会 員 数	(51 年 12 月)	本 年 度	寄 付 額	達 成 率	上位への	クラブ名	会 員 数	(51 年 12 月)	本 年 度	寄 付 額	達 成 率	上位への
				累 計	累 計	(%)	必 要 額							
あ 安 渥 尾 富 蒲 白 半 碧 東 知 一 宮 飯 飯 飯 伊 稲 犬 一 刈 軽 春 井 木 日 曾 駒 ヶ 小 小 江 丸 松 松 松 本 松 本 西 南 佐 輪 野 長 長 名 名	ま 城 美 西 見 郡 馬 田 南 多 宮 北 田 南 島 那 沢 山 色 谷 井 沢 井 曾 根 牧 諸 南 子 川 本 南 南 久 輪 野 東 屋 空	68 63 45 46 42 74 32 64 70 89 43 76 69 62 69 56 51 74 38 74 44 62 58 52 37 78 81 44 27 24 76 66 214 71	3,510.12 7,135.60 599.14 98.00 2,000.00 72.00 51.00 3,211.00 3,297.02 41.00 2,084.97 4,883.82 1,577.16 2,402.52 1,053.03 1,734.99 3,945.01 1,636.44 1,000.00 1,104.00 3,507.52 2,072.00 134.61 4,124.00 1,253.00 8,078.74 1,105.00 800.67 2,699.96 1,972.88 1,853.00 1,000.00 259.50 5,645.07 6,000.00 8,598.06 902.50	19,108.21 17,673.48 4,647.88 7,295.91 4,301.50 9,067.47 1,847.90 12,232.23 17,432.94 4,949.16 16,147.97 14,461.55 16,978.44 12,534.50 9,758.41 8,009.14 15,430.10 6,949.38 13,632.77 7,235.28 17,126.70 9,025.89 35,265.91 13,808.41 23,014.72 17,171.96 2,882.73 4,092.06 22,434.04 18,626.60 10,446.39 1,697.45 2,041.15 13,421.76 9,844.96 71,562.93 14,109.48	2,800 2,800 1,000 1,444.09 1,000 1,300 500 1,900 2,400 1,100 1,800 1,900 2,400 2,000 3,100 1,900 2,300 1,300 1,800 1,900 2,300 2,000 5,600 2,300 4,500 2,900 700 1,100 2,800 2,200 2,300 600 800 1,700 1,400 3,300 2,000	611.79 596.52 302.12 1,444.09 318.50 1,292.53 72.10 567.77 67.06 210.84 762.03 738.45 271.56 485.50 161.59 490.86 409.90 190.62 427.23 364.72 633.30 214.11 74.09 111.59 905.28 228.04 77.27 227.94 185.96 3.40 113.61 192.55 118.85 258.24 55.04 1,197.07 800.52	名古屋東 名古屋守山 名古屋中 名古屋北 名古屋南 名古屋東南 名古屋和合 名古屋西 中 野 西春日井 西 尾 岡 谷 岡 崎 岡 崎 東 岡 崎 南 奥 三 河 大 町 尾 張 旭 名古屋港 瀬 戸 新 城 諏 訪 田 原 高 浜 辰 野 戸倉上山田 東 海 常 滑 豊 橋 豊 橋 北 豊 橋 南 豊 川 豊 田 豊 田 西 津 島 上 田 計	82 77 75 100 105 78 58 130 42 63 68 57 79 47 64 50 61 44 107 73 45 58 48 43 42 33 45 50 101 94 53 62 87 56 72 68	443.80 1,846.20 733.11 4,245.60 3,015.98 1,664.97 463.00 3,915.58 125.61 2,375.11 5,218.00 2,648.54 2,743.00 2,325.99 1,051.56 11,163.20 4,434.68 1,746.19 1,214.99 2,340.78 68.00 59.00 438.77 558.90 129.00 32.00 55.00 174.00 3,806.65 1,466.99 2,442.37 1,521.00 1,529.94 112.55 1,176.99 170.00	26,436.93 16,408.78 14,258.68 49,673.32 30,388.98 19,615.62 10,814.86 26,247.03 3,627.74 7,020.00 15,705.64 16,247.88 36,515.52 10,973.92 17,593.66 16,605.59 4,434.68 10,408.57 39,828.39 14,767.90 8,755.99 11,423.93 7,748.77 4,201.25 5,547.22 1,213.84 3,279.69 8,538.69 37,795.79 23,182.03 12,977.60 10,327.49 18,438.20 8,352.70 18,155.50 6,217.34	3,200 2,100 1,900 4,900 2,800 2,500 1,800 2,000 800 1,200 2,300 2,800 4,600 2,300 2,700 3,300 700 2,300 3,700 2,000 1,900 2,100 1,600 1,500 900 1,700 3,700 2,400 2,400 1,600 2,100 1,500 2,500 900	623.07 531.22 741.32 326.68 61.02 664.38 205.14 1,052.97 152.26 1,170.00 614.36 282.12 614.48 306.08 326.34 394.41 445.32 151.43 831.61 562.10 244.01 1,336.07 411.23 98.75 1,172.78 106.16 320.31 461.31 584.21 317.97 272.40 212.51 701.80 607.30 564.50 582.66	平均 2,300%	

サンリアンドロR.C.と妹姉提携
一色ロータリークラブ

一色Ｒ．Ｃ．（鳥居吉男会長）は５月１２日米国加州サンリアンドロＲ．Ｃ．の１行１７名を迎え、歓迎例会を開き、席上、同クラブと姉妹協約を結んだ。



写真は協約宣言をする両クラブの代表

1977～78年度財団交換学生
帰国出迎えのご案内

現在、アメリカ、カナダに滞在中の帰国日本人学生の出迎えは下記の通りです。

日時 7月30日(日)17時頃。

場所 東京シティーエアーターミナル（東京都中央区箱崎町）で成田空港からバスで着くのを迎えます。

〔訂正〕

ガバナースレーター前13号P.6地区内姉妹提携クラブ一覧表中、飯田南クラブがキンボール、台湾桃園両R.C.と提携とあるは誤りで目下提携準備中と訂正します。

英語版「ロータリーの友」購読御礼

英語版「ロータリーの友」は本年度7, 8号が発刊されました。特に今年は東京国際大会開催で大いにその真価を発揮しました。

年初より各クラブに会員の10%の部数の購入をお願いして来ましたが、ほぼ目標に達しました。厚く御礼申し上げますと共に新年度以降も宜しくお願い申し上げます。

分 区	ク ラ ブ 名	口 数	分 区	ク ラ ブ 名	口 数
尾 張 第 1 分 区	名 古 屋	35	三 河 第 2 分 区	豊 田	8
	名 古 屋 西	15		岡 崎	8
	名 古 屋 南	12		碧 南	7
	常 滑	12		一 色	6
	名 古 屋 中	10		豊 田 西	5
	名古屋東南	8		岡 崎 東	5
	名古屋守山	8		高 浜	5
	名古屋港	7		西 尾	3
	名古屋北	5		岡 崎 南	2
	名古屋東	5		刈 谷	1
	名古屋和合	5		刈 城	1
	東 海	5		計	51
	東 知 多	4	東 北 信 分 区	長 野	8
	半 田	2		長 野 東	7
計		133		上 田	5
尾 張 第 2 分 区	一 宮	13		小 諸	3
	瀬 戸	9		戸 倉 上 山 田	3
	一 宮 北	7		軽 井 沢	2
	あ ま	7		南 佐 久	1
	犬 山	7		中 野	0
	名古屋空港	6		丸 子	0
	江 南	6		計	29
	春 日 井	5	南 信 第 1 分 区	松 本	17
	津 島	5		松 本 南	9
	西 春 日 井	5		諏 訪	8
	稲 沢	5		岡 谷	6
	小 牧	3		木 曾	4
	尾 張 旭	2		松 本 西	4
	尾 西	0		白 南	3
	計	80		大 町	1
三 河 第 1 分 区	豊 橋	10		富 士 見	0
	豊 橋 北	10		計	52
	蒲 橋	5	南 信 第 2 分 区	飯 田	12
	豊 橋 南	5		飯 田 南	7
	田 原	5		飯 田 根	7
	奥 三 河	5		駒 ヶ 野	7
	渥 美	5		伊 那	5
	豊 川	0		飯 島	3
	新 城	0		箕 輪	2
	計	45		松 川	0
	計	45		計	43
合 計		433口と130部			

デンタルロータリー会議開かる

— 尾 張 第 1 分 区 —

第260地区内に結成された歯科医師等歯科医療関係者のデンタルロータリークラブの尾張第1分区分会議が6月22日15時から名古屋観光ホテルで開かれた。会議には川瀬地区職業奉仕委員長がアドバイザーとして出席、会員10数名が懇談した。

美化運動に協力一渥美R.C.

渥美R.C.（石本正会長）では渥美町美化運動の提唱者となり、推進連絡会のメンバーとして①花いっぱい②ゴミゼロ③笑顔で挨拶の各運動を繰り広げている。

豪華写真集を市へ寄贈：中野R.C.

中野R.C.（古川芳郎会長）はこの程、市立図書館へ社会奉仕活動の一環として10万円相当の写真集（5冊）を贈った。（信濃毎朝）

永和扶輪社と姉妹提携へ

— 西春日井R.C. —

5月18日西春日井R.C.は台湾永和R.C.の林会長ら1行11名を迎え、名鉄グランドホテルで歓迎例会を、引続き歓迎親睦家族会を開いた。

席上、来賓の福田尾張第2分区分代理も祝詞を述べた。両クラブ会長の挨拶や記念品の交換も行われた。

又、家族会ではご夫人達の大合唱もあり和気あいあいの内に終わった。

なお姉妹提携調印式は9月に永和クラブを訪問の折行われる予定。

R.財団地区内平均寄与率の計算方法

ガバナースレター9号並びに本号に地区内財団寄付累計達成率が2,100%, 2,300%とありますが、これはあくまでも累計額を前ロータリー年度(S51年)12月の会員数で割ったものでR.I.で言う所の地区の%ではありません。地区のパーセントはその地区内のクラブの最低パーセントが地区%で260地区は300%地区に属します。この件に付鮎谷R.I.日本財団促進委員からお教え頂きました。

おめでとう

ポールハリスフェロー

☆百瀬 洋君 (松本西南)	6月2日
☆駒崎鉄五郎君 (上 田)	同上
☆清水 忠治君 (松本西南)	6月5日
☆小山喜太郎君 (上 田)	同上
☆大嶽 乙茂君 (安 城)	6月8日
☆三井 章義君 (諏 訪)	6月12日
☆岩波 時雄君 (同上)	同上
☆吉田 武郎君 (一 宮 北)	同上
☆塚田 吉治君 (松本西南)	同上
☆水野 正義君 (名古屋北)	同上
☆富永仁三郎君 (同上)	同上
☆精園 英一君 (同上)	6月13日
☆勝見 乙平君 (安 城)	6月21日
☆真知 哲夫君 (田 原)	同上

米山奨学会への特別寄付

☆千賀 武弥君 (岡崎南 R.C.)	¥ 20,000
☆長田 侑孝君 (同上)	¥ 30,000
☆早稲田国勝君 (瀬 戸 R.C.)	¥300,000
(米山功労者)	
☆伊藤 博君 (あ ま R.C.)	¥300,000
(米山功労者)	
☆坂ノ上瀬戸夫君 (名古屋空港 R.C.)	¥ 30,000
☆安藤 邦雄君 (同上)	¥ 30,000
☆堀場 良春君 (同上)	¥ 30,000
☆林 猛夫君 (名古屋中 R.C.)	¥100,000
☆井沢 肇君 (豊橋南 R.C.)	¥ 30,000
☆河合 梅雄君 (同上)	¥ 30,000
☆宮本 昌幸君 (岡崎南 R.C.)	¥100,000

☆飯 田 R.C.	6月3日	¥210,000
☆岡崎東 R.C.	6月6日	¥ 5,301
☆碧 南 R.C.	6月10日	¥ 68,000
☆常 滑 R.C.	6月15日	¥100,000
☆尾張旭 R.C.	6月17日	¥ 30,000
☆大 町 R.C.	6月22日	¥120,510
☆蒲 郡 R.C.	6月26日	¥ 36,850
☆東知多 R.C.	6月14~28日	¥ 10,607
☆名古屋北 R.C.	6月28日	¥191,000

この1年間のご協力厚く御礼申し上げます。

訃 報

謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

野崎 正元君 (蒲郡 R.C.) 65才
昭和53年6月18日逝去。シニア・アクティブ (元綿紡績) 日吉紡績㈱社長
山田 益男君 (岡谷 R.C.) 58才
建築。カネタ山田工業㈱社長。



告 知 板

次期ガバナー事務所住居表示変更

8月1日より次の様になります。

常滑市鯉江本町3丁目6番地

例会場変更 (新年度第1例会より)

- ・豊橋南 R.C. 豊橋グランドホテル8階
〒440 豊橋市駅前大通2-48
tel. 0532-55-6221
- ・新 城 R.C. 桜淵いこいの広場
〒441-13 新城市宇庭野岩本32
tel. 05362-3-3661
- ・刈 谷 R.C. 日本生命保険相互刈谷支社
〒448 刈谷市南桜町2-56
tel. 0566-22-2111
(S54年3月31日迄)

ビジターフィー変更 (いずれも7月1日より)

- ・あ ま R.C. ¥2,200 (旧¥2,000)
- ・春日井 R.C. ¥1,800 (旧¥1,600)
- ・名古屋東南 R.C. ¥2,200 (旧¥2,000)
- ・碧 南 R.C. ¥1,500 (旧¥1,200)
- ・高 浜 R.C. ¥1,500 (旧¥1,200)
- ・名古屋港 R.C. ¥2,200 (旧¥2,000)
- ・新 城 R.C. ¥1,500 (旧¥1,200)
- ・長 野 R.C. ¥1,700 (旧¥1,500)
- ・長野東 R.C. ¥1,700 (旧¥1,500)

(以上いずれも6月30日に通知を頂いた分のみです)

ガバナー事務所への感謝

ガバナー 森 泰 樹

ガバナーとしての私のこの1年私は健康に恵まれて、それこそ風邪一つひかずスケジュールにも微塵の変更する必要がなかった。それにもまして私の恵まれたのはガバナー事務所のスタッフであった。高沢地区幹事の周到にして前進的でもスピーディーな処置の仕方は傍目にもすがすがしく蛟龍正に雲を得たりの概（がい）があった。私は以前彼の会長時代のやり方を知ってはいたが、暫く振りにそのお手並みに接し、只々舌を捲くばかりであった。この溢れるエネルギーと綿密さがあればこそ、もうこの地区でそろそろ壁につき当りかけて来ている拡大に異常な情熱の焰を燃して、年度末になってバタバタと佐久、上田東、名東の三クラブを誕生させることに成功させたのである。只々頭の下る思いである。厚くお礼を申し述べたい。

月々に発刊する月信では私は自分のロータリー観などと称して自慰的な小文を毎号書いた他は全部石川「月信係」に委せ切りであった。新聞編集の前歴をもつ彼の力腕が遺憾なく発揮されて、どの号もどの号も満足すべき出来ばえであった。「友」編集の経歴を活して良き英文の見出しを考えてR.I.にアップしたことも彼の功績の一つである。

会計に預って貰った河合、小田の両君は全く陰にあって何等顧慮させることなく経理を運営して頂いて心おきなく活動が出来た。

又いつも笑顔で事務所に清風を送ってくれた事務所の二女性にも心からお礼を申しのべたい。私はその報恩に今から二人の婿探しに専念しなければならない。大かたの御協力をお願いし度い。

天の恵、人の和、そして自らの健康に恵まれて私にとってよき佳き一年であった。事務所の皆さん、どうも有難うございました。

ロータリー少年キャンプへどうぞ

名古屋R.C.では8月9～13日迄4泊5日のロータリー少年キャンプを行う。同クラブが主催して今回が15回目。交換学生10名も参加、定員60名。申込締切は7月25日。詳細は名古屋R.C.迄。

御礼の言葉………事務局から

地区会計長をお引受してから1年間、あと僅かの残務整理期間を残すのみでこの大役を恙無く終了出来たのも、これロータリーの友情と深いご支援の賜物と厚く感謝申し上げます

地区会計長 河 合 圭 吉

地区幹事よりガバナーズレター最終号に何か書くよう厳命されましたが、取り立ててご報告するような事ありませんので、一言お礼を述べさせて戴き、私の責を果たしたいと思います。昨年4月1日ガバナーノミニー事務所を開設して以来1年3ヶ月あっと云う間に過ぎてしまいました。開設当初は不慣れの為何かと各R.C.の皆様方にご迷惑をお掛け致しましたが、今日まで大過なく事務運営が出来ましたのも、ホームクラブである豊橋R.C.をはじめ地区各R.C.の皆様方の暖いご理解と友情溢れるご支援、ご指導のお蔭と深く感謝するしだいであります。まだ7月一杯の残務整理期間を残して居りますが、事務局を代表致しましてここに厚くお礼申し上げます。お礼の言葉とさせていただきます。

地区副幹事 小 田 公 平

地区協議会（'78～'79）決算書

（津島R.C.）

収入の部	
(1) クラブ登録料	3,848,000円
(2) 一般参加者登録料	312,000
(3) 地区資金より	600,000
(4) 瀬戸R.C.登録料	422,500
収入合計	5,182,500
支出の部	
(1) 準備打合せ会議費	331,987円
(2) 会議費	479,450
(3) 宿泊旅費	236,100
(4) 会場費	1,561,200
(5) 印刷費	526,340
(6) 食事接待費	1,337,200
(7) 交通費	217,160
(8) 事務費	81,050
(9) 通信費	67,450
(10) 消耗品費及び諸雑費	307,230
(11) 寄付金(米山記念奨学会)	37,323
支出合計	5,182,500

6月度 分区分平均出席率及び会員数

順位	平均出席率	分 区 名	当月会員数	前月会員数	増減
1	99.57	南信第2分区	401	406	- 5
2	98.75	尾張第2分区	908	909	- 1
3	98.59	三河第2分区	713	719	- 6
4	97.57	尾張第1分区	1,267	1,283	-16
5	96.47	三河第1分区	590	595	- 5
6	95.47	南信第1分区	491	491	
7	95.19	東北信分区	471	451	+20
全クラブ平均出席率 96.12%					
1977年7月1日対比会員数純増累計 + 112名					

事務局だより

- 今、最後の事務局だよりを書いて居りますとこの1年間がアッと言う間に通り返した様に思えます。この1年間期日迄に月信を出す責任を思うと永い期間でもありました。慣れぬ仕事で色々皆様にご迷惑をお掛けした事をお詫び申し上げます。
- しかし、副幹事としてこの仕事に専任させて頂けたことは私の経験の上で大変なプラスとなり、ロータリーに対する愛着も一層深まった様な気がします。
- 期日にキチンと発行出来たのも森ガバナーが巻頭のガバナーの言葉を毎号キチンと執筆して下さいました事や編集を全部まかせて頂いたお蔭で時々この頁で脱線した失礼を申し訳なく思います。
- 編集についてはロータリーの友の事務所の方々に大変お世話になりました。友の地区委員を勤めさせて頂いたことが大変役立ちロータリーの知り合いを広めようを地でいった感じで大いに面目をほどこしました。厚く御礼申し上げます。
- 高沢幹事の指導よろしきを得て事務局も終始なごやかで楽しい雰囲気でした。絶えず明るさと若さをふりまいて頂いた渡辺、中尾両嬢にも感謝致します。どこで逢ってもやあとと言える気持を忘れないで下さい。
- 最後にデザインや校正で夜中迄つきあって頂いた中部デザインセンターの原君にも紙上をかりて御礼申し上げます。

地区副幹事（G.月信担当）石川和昌

6月度 分区分会員数及び出席率

昭和53年6月30日現在

分 区	順 位	ク ラ ブ 名	会 員 数	出 席 率	例 会 数	前 月 会 員 数	増 減
尾 張 第 1 分 区 (14 C)	1	名古屋和合	53	100.00	4	60	- 7
	2	名古屋北	101	99.60	5	101	
	3	名古屋中	80	99.37	4	79	+ 1
	4	常滑	56	99.30	5	57	- 1
	5	名古屋港	112	99.11	5	112	
	6	名古屋守山	77	98.34	4	77	
	7	名古屋南	110	97.79	4	113	- 3
	8	東海	44	97.73	4	44	
	9	名古屋東南	79	97.72	5	79	
	10	名古屋西	135	96.88	5	135	- 1
	11	名古屋東	90	96.87	4	90	
	12	半田	73	95.09	5	73	
	13	東知多	40	94.38	4	40	
	14	名古屋	217	93.86	4	222	- 5
尾 張 第 2 分 区 (14 C)	1	犬山	70	100.00	4	69	+ 1
	2	春日井	76	99.74	5	75	+ 1
	3	津島	72	99.68	5	72	
	4	名古屋空港	61	99.59	4	61	
	5	あま	70	98.93	4	71	- 1
	5	江南	59	98.93	5	59	
	8	瀬戸	73	98.63	4	73	
	8	尾張旭	43	98.60	5	43	
	9	尾西	49	98.48	4	49	
	10	西春日井	65	98.44	4	65	
	11	一宮	72	98.35	5	73	- 1
	12	一一宮	88	98.25	4	89	- 1
	12	小牧	57	98.25	4	57	
	13	稲沢	53	96.63	4	53	
三 河 第 1 分 区 (9 C)	1	豊橋北	92	99.15	4	93	- 1
	2	豊橋南	59	98.73	4	59	
	3	豊橋	104	98.39	5	106	- 2
	4	蒲郡	70	97.29	4	71	- 1
	5	豊川	63	97.16	4	63	
	6	田原	58	96.90	5	58	
	7	新城	45	94.22	5	45	
	8	渥美	49	93.37	4	49	
	9	奥三河	50	93.00	4	51	- 1
三 河 第 2 分 区 (11 C)	1	碧南	67	100.00	4	68	- 1
	1	安城	66	100.00	5	66	
	3	岡崎南	67	99.70	5	67	
	4	豊田	85	99.51	5	86	- 1
	5	刈谷	73	99.27	4	72	+ 1
	6	高浜	43	98.75	4	44	- 1
	7	岡崎	79	98.25	4	81	- 2
	8	豊田西	57	97.81	4	57	
	9	豊田東	51	97.64	5	51	
	10	岡崎東	53	97.03	5	54	- 1
	11	西尾	72	96.53	4	73	- 1
東 北 信 分 区 (10 C)	1	戸倉上山田	35	100.00	5	33	+ 2
	2	長野	78	98.55	4	78	
	3	軽井沢	39	97.44	4	39	
	4	中野	53	96.60	5	53	
	5	南佐野	29	96.43	4	29	
	6	小諸	55	96.36	5	55	
	7	長野東	69	94.53	4	69	
	8	上田	51	92.87	4	62	- 11
	9	丸田	33	91.50	5	33	
	10	佐久	29	87.58	5	33	+ 29
南 信 第 1 分 区 (9 C)	1	松本南	84	100.00	4	84	
	2	松本	76	99.21	5	76	
	3	松本西	46	98.41	4	46	
	4	岡谷	59	98.30	4	59	
	5	白馬	31	96.77	4	31	
	6	大町	64	95.31	4	64	
	7	諏訪	55	93.22	5	55	
	8	木曾	47	91.11	4	47	
	9	富士見	29	86.89	5	29	
南 信 第 2 分 区 (8 C)	1	伊那	61	100.00	5	63	- 2
	1	駒ヶ根	61	100.00	4	63	- 2
	1	辰野	48	100.00	4	48	
	1	箕輪	27	100.00	5	26	+ 1
	5	飯田南	66	99.69	5	66	
	6	飯田	69	99.60	4	69	
	7	松川	37	98.86	5	36	+ 1
	8	飯島	32	98.43	4	35	- 3
当月会員数総計			4,841	前月会員数総計		4,854	増減 -13